

MEGURU STATION®



Features : 互助共助コミュニティ型の資源回収ステーション

MEGURU STATION®は、住民が家庭ごみを資源として持ち込み、分別する「資源回収機能」と、世代を超えた住民同士の交流や、子育て・見守り支援などの「コミュニティ醸成機能」を併せ持つ、互助共助コミュニティ型の資源回収ステーションである。人口減少や社会保障費増大などの地域課題、資源枯渇などの地球環境問題、サーキュラーエコノミーの実践や再生資源の調達など企業側の課題、これらの課題を統合的に解決する仕組みとして設計された、アマタグループの提供サービスである。

2023年6月現在、兵庫県神戸市と福岡県大刀洗町の、2自治体6箇所で開催している。
※うち2箇所はMEGURU STATION®のノウハウを活用し、アマタが立ち上げ支援を行った神戸市の「資源回収ステーション」を含む。

Innovation : 介護予防、外出のきっかけにも効果

大学機関との共同研究により、MEGURU STATION®を利用することで、一定の介護予防効果があることも明らかとなっている。また、介護予防効果が生まれることで、介護費用抑制にもつながるといふ推計も出ている。(参考: https://www.amita-hd.co.jp/news/220610_meguru.html)

引きこもりがちであった利用者からは「外出のきっかけとなった」という声も届いている。

Future : MEGURU PLATFORMの構築を目指して

2030年までに、MEGURU STATION®を全国に5万ヶ所に設置することを目指している。そして、回収された資源を品質の高いサーキュラーマテリアル(循環資源)に加工、企業等へ出荷するスマートファクトリー「MEGURU FACTORY」を47都道府県に設置し、人・自然・もの・情報のすべてがにつながる「MEGURU PLATFORM」の構築を目指している。

行動の可視化で利用を促進、
さらなる資源回収と情報収集を目指すプロジェクト

Find VALUE ~みつける~

MEGURU STATION®設置を通して得られる「情報」にも着目している。容器等の資源回収を通じて、その地域では、どのような商品が、どのくらい消費されているか、いつ人がステーションに集まるかなど、資源情報だけでなく、個人を特定しない形で、地域ニーズや人の行動を把握することが可能となっている。

Create VALUE ~つくる~

「自分ごとであること」が大切なポイントである。自身の行動が資源循環につながっていることを伝えるため、例えば住民が分別したプラスチックでベンチを作るなど、行動を可視化できる取組を実施している。それが次の行動変容につながり、当事者意識の醸成につながっていく。

Share VALUE ~つたえる~

金融機関と連携し、MEGURU STATION®がもたらす社会的な効果の可視化(インパクト評価)への取組も進めている。社会的影響を評価するための測定項目・手法を設計の上、順次現場での測定・評価を進めている。



(資源の分別回収の様子)



(世代間交流の様子)

Player

アマタ株式会社	プロジェクトの企画・運営、ハード・ソフトの提供
自治体関係者	プロジェクトの企画・実装、フィールドの提供
住民の皆様	資源の分別・持ち込み、ステーションの自律的な運用・管理(袋交換など)
企業の皆様	資源循環やコミュニティづくりに関するノウハウや技術の提供